

道徳科研究部報

令和 3年 7月20日
浜松市教育研究会道徳科研究部

夏の日差しが降り注いでくるようになりました。

皆様には、第1回の研修会に参加していただき、ありがとうございました。今回の道徳部報では、主任者会の様子を交えつつ、第1回の講話の内容の報告と第2回研修会の案内をさせていただきます。



第1回主任者会 講話 浜松市教育委員会指導課指導主事 武田 伸江 指導主事より

① 新学習指導要領について

(1) 変わること … 目標3つ、評価の観点3つにそろった。

(2) 求められていること … 主体的に試行錯誤し、協働して、新たな価値を生み出す。

② 道徳開きについて

(1) 目標と指導と評価の一体化

目標 … 育成する資質・能力を明確に。道徳性（道徳的判断力・心情・実践意欲と態度）を育てる。

指導 … 主体的・対話的で深い学びを。（自己との関わりで、多面的・多角的に）

評価 … 自己との関わりで、多面的・多角的に考えていることを評価する。

(2) 目指したい授業や評価の視点を共有する教科ガイダンス

めあて、内容項目、評価の視点、道徳科授業の約束

教師の立ち位置 … 促す、一緒に考える、整理する → 子供主体〇

第1回研修会

① 研修計画

＜令和3年度 浜松市教育研究会 研究テーマ＞

「愛情と情熱を持って学び続け 子供たちの道しるべになろう」(R1～)

＜道徳研究部 研究テーマ＞

「自分らしさを大切にし、ともによりよく生きる子供を育む道徳教育
～考え、議論する 道徳科授業 を核に～」(R2～)

② 講話「よい評価とは」

浜松市教育委員会指導課 武田伸江指導主事

(1) 道徳科の評価とは

よい考えではなく、よく考えていることを評価する。

よく考える = 自己との関わりで考えたか、
多面的・多角的に考えたか。

行動の評価 = 教育活動全体における道徳教育の評価

道徳科の評価 = 道徳科の授業で見取る評価



(2) 道徳科のよい評価とは

受け止める子供たちがどう捉えるか、励みになるかどうか。

ねらいに近づけたかではなく、ねらいに向かってどう考えていたかを評価する。

↳ 心の中に働き掛ける。

通知表だけでなく、授業中やワークシート、三者面談などでも、子供がいかに成長したかを認め、励ます個人内評価を。

第2回研修会について

日時	令和 3年 8月 5日 (木)	9:30~
場所	引佐多目的研修センター	
日程	9:00	受付
	9:30~10:45	グループワーク (授業づくり研修)
	11:00~11:15	全体会
	11:15~12:00	実践発表 酒井 憲夫 先生 (有玉小) 寺澤 友希那 先生 (浜北北部中)
	(12:00~13:30)	昼食・休憩
	13:30~15:30	講師講話 講師 武田 伸江 指導主事 演題 「道徳科の授業づくり」
	16:00	閉会 (時刻は若干変更になる場合があります。)

- その他
- ① 駐車場 … 詳細は、後日連絡いたします。
 - ② 昼食 … 各自、御持参ください。近隣の飲食店を利用したの
昼食は、避けてください。また、集合駐車になり、外出できない場合があります。昼食は、午前中の研修会場または、車中等でお願いします。
 - ③ 持ち物 … 第3回研修会の授業についてのアイデア
※ 授業の詳細は、後日連絡します。
 学習指導要領解説 特別の教科 道徳編
 健康観察票